

平成31年度当初予算案における主要な施策

| 部 局 名 |
|---------|
| 危機管理防災部 |

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

| 区分 | 平成31年度 | 平成30年度 | 伸び率 |
|---------|-------------|-------------|-------|
| 予算総額 | 6,835,060千円 | 6,061,865千円 | 12.8% |
| 一般会計構成比 | 0.4% | 0.3% | — |

【埼玉県災害救助事業特別会計】

| | | | |
|------|-----------|-----------|-------|
| 予算総額 | 766,215千円 | 778,883千円 | △1.6% |
|------|-----------|-----------|-------|

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 大地震など危機への備えの強化

(1) 地震に備えたまちづくり

| | | |
|-----|-----------------------|--------|
| P 1 | 減災に向けた自助と共助の促進【危機管理課】 | 30,158 |
|-----|-----------------------|--------|

(2) 危機管理・防災体制の強化

| | | |
|-----|---|-----------|
| P 2 | 新規 SNS災害情報サポーターの確保・育成【消防防災課】 | 4,463 |
| P 3 | 新規 ラグビーワールドカップ2019消防・救急体制の整備 【消防防災課】 | 64,350 |
| P 4 | 地上系防災行政無線の再整備【消防防災課】 | 1,645,137 |
| P 5 | 若者を中心とした消防団への加入促進【消防防災課】 | 3,036 |

減災に向けた自助と共助の促進

担当 危機管理課 震災予防担当
内線 8141

1 目的

首都直下地震等の大規模災害に備え、県民の自助・共助の取組を促進し、災害発生時の被害軽減を図る。

2 事業内容

(1) イツモ防災事業 12,464千円

防災講座、ワークショップ、啓発冊子の配布などにより、家具固定や水・食料の備蓄など自助の取組の一層の普及を図る。



家具固定啓発ワークショップ



小学生向け教材



防災マニュアルブック

(2) 自主防災組織育成事業 16,792千円

防災資機材整備に対する助成や研修・訓練への講師派遣などを行い、自主防災組織の設立や活性化に取り組む市町村を支援する。

また、市町村や自主防災組織に最新の防災機器を紹介する展示会を行う。



避難所運営訓練 HUG



防災機器展示会 (イメージ)

(3) 災害ボランティア団体支援事業 902千円

県内の災害ボランティア団体が災害時対応等について話し合う場を提供し、ネットワーク活動の活性化を支援する。

3 平成31年度予算額 30,158千円

S N S 災害情報サポーターの確保・育成

担当 消防防災課 災害対策担当
内線 8 1 8 1

1 目 的

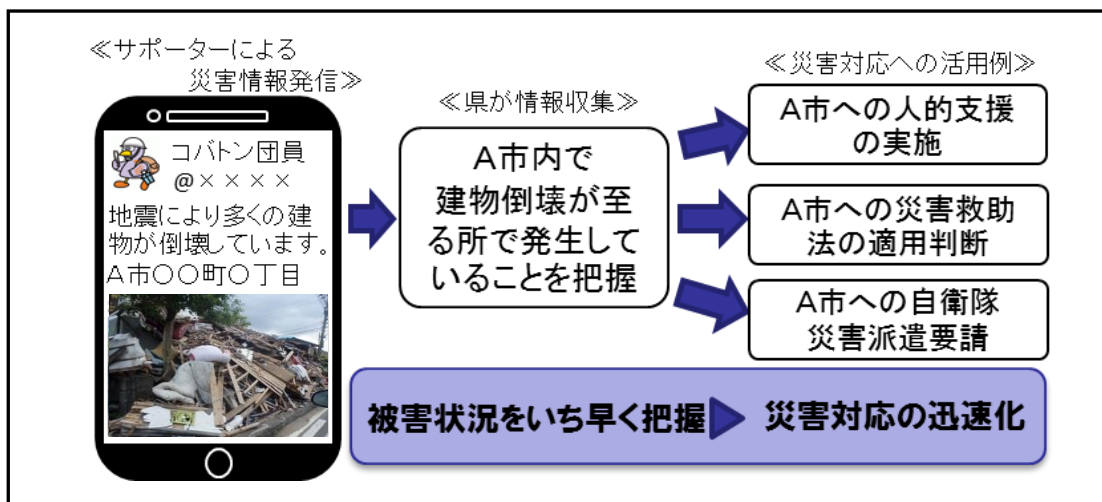
大規模災害発生時に、被害状況をはじめ有用な情報をいち早く把握できるようにすることで、災害対応の迅速化を図る。

2 事業内容

(1) SNS災害情報サポーターの確保・育成

災害対応に有用な情報をSNSで発信してもらえるよう、消防団員など防災知識を有する方々を対象に研修会や訓練を実施する。

また、県民に対しても、SNSによる災害情報の発信を広く呼び掛ける。



(2) SNS災害情報活用・発信検討会

AIを活用したSNS災害情報分析システムの導入方策や県民への情報発信方法について、有識者等を交えて検討を進める。

3 平成31年度予算額 4, 463千円

ラグビーワールドカップ2019消防・救急体制の整備

担当 消防防災課 消防広域担当
内線 8173

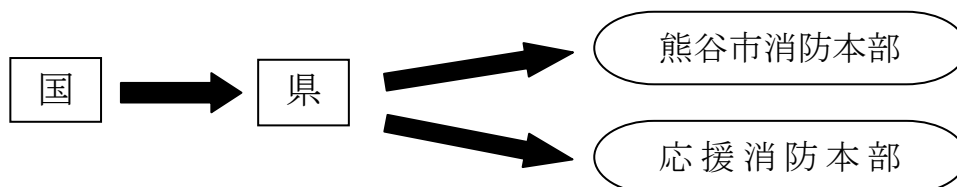
1 目的

ラグビーワールドカップ2019の開催に万全を期すため、県内消防本部におけるテロ災害への備えの充実強化を図る。

2 事業内容

県内消防本部を対象に、テロ災害対応資機材の購入費用や応援部隊の活動に要する経費を補助する。

(1) 事業スキーム (国庫10/10)



(2) 補助対象

ア テロ災害対応資機材購入費用

除染シャワー、防毒マスク、陽圧式防護服、化学剤検知器など



除染シャワー



防毒マスク



陽圧式防護服

イ 応援部隊の活動に要する経費

車両の燃料費、隊員の旅費など

3 平成31年度予算額 64,350千円

地上系防災行政無線の再整備

担当 消防防災課 防災情報無線担当
内線 3177

1 目的

地上系防災行政無線システムの再整備を行うことで、大規模災害時等における情報収集・伝達手段の確保を図る。

2 事業内容

(1) 事業期間

平成29年度～平成32年度

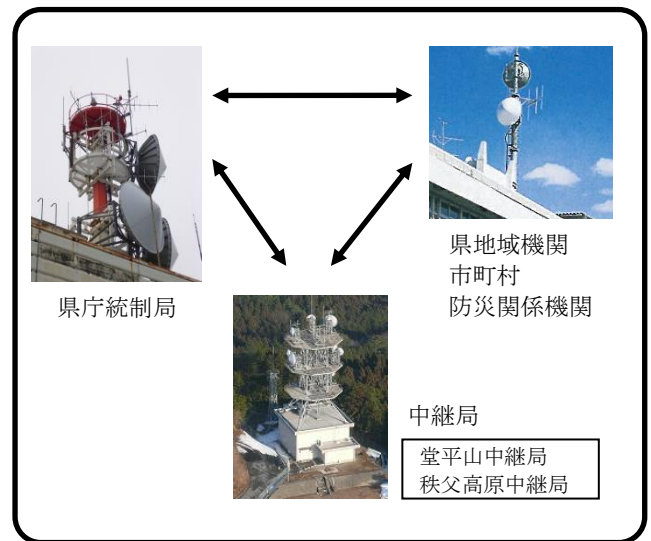
(2) 総事業費

5,721百万円

(3) 再整備の概要

ア 施工箇所

県庁統制局、中継局、県地域機関、市町村、防災関係機関 246か所



イ スケジュール

| | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 本体工事 | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 電源設備工事 | | ■ | ■ | ■ |
| 端末設備工事 | | | ■ | ■ |

(4) 平成31年度事業

ア 地域振興センター、県土整備事務所など 34か所
無線設備、電源設備、端末設備の整備

イ 県地域機関、消防本部、防災関係機関 143か所
端末設備の整備

3 平成31年度予算額 1,645,137千円

若者を中心とした消防団への加入促進

担当 消防防災課 消防・調整担当
内線 8153

1 目的

将来にわたって地域防災の担い手を確保するため、若者（特に大学生）を対象に消防団への加入促進PRを展開する。

また、地域全体で消防団を応援する気運を醸成する。

2 事業内容

(1) 広報強化事業

消防団員を県内各地に派遣し、大学祭や地域のイベントなどで消防団への加入促進PRを行う。

また、学生消防団員のスキルアップを図るため研修会などを開催し、消防団活動のSNSでの発信を呼び掛ける。



大学祭でのPR



学生消防団員研修会

(2) 消防団応援プロジェクト事業

地域で消防団活動を支援する「消防団応援の店」の拡充を図る。



応援の店 店頭ステッカー

3 平成31年度予算額 3,036千円